

7/16(日) オープニングイベント! 野焼き体験「縄文榎木ばちでカンタン盆糺に挑戦!」
10:00~13:00 参加費1,200円・予約必要
講師:清水 雄一 ※詳しくは下記をご覧ください

縄文アートまつり

縄文 & アートワークショップ

自然素材(ねんど・竹など)やリサイクル材料で飾りや遊ぶものを作ります。作業しやすい服装でご参加ください。
対象年齢の指定はありませんが、小学校3年生以下は保護者同伴をお願いします。

1回目 10:00~11:30 2回目 14:00~15:30 有料・要予約 定員各10名

7/16(日) 縄文榎木ばちで1回のみ! カンタン盆糺に挑戦! ※10:00~13:00の開催
参加費:1,200円 講師:清水 雄一
3時間で、成形・乾燥・焼成・盆糺までをやるといふ、現代版縄文土器制作を体験します。カップサイズの榎木鉢(榎模様などを施す)を作り、釉薬を塗ってから缶を用いた野焼きをします。最後に酸化させることでメタリックの不思議な色に焼き上がります。

8/5(土) カラフルな榎木ばちでオリジナル土偶を作ろう!
参加費:800円 講師:西村FELIZ
素早くても誰にでも簡単に扱える榎木ばちを使って、せいかいにとつ、自分だけのオリジナルの土偶をつくってみましょう。泥ねんどや油ねんどと違って手が濡れたり、濡れやすかったりすることはありません。自然乾燥で、翌日には完全に乾きます。完成品も軽くて丈夫なので夏休みの自由研究にはピッタリです!

8/12(土) 縄文のジグソーパズル! 土器復元ワークショップ
参加費:500円 講師:大内 公公
バラバラの土器の破片を組み立てて、完全な土器の形を作ります。まるでジグソーパズルのよう。うまく破片がつかがるかな?

8/19(土) 竹で水筒を作ろう!
参加費:600円 講師:野村 俊幸
① 竹をのこぎりで切ります。
② 節に小さな穴をあけます。
③ 押し出し用の細い竹に布を巻きます。
④ 野外で使ってみよう!

8/20(日) ビンボン玉でかえるを作ろう!
参加費:400円 講師:MあんどB
ピンボン玉からかえるが飛び出します。子供たちが手にもってあそべます。

申込方法
右記QRコードからお願いします。
受付開始:7月分は7/1(金)、8月分は7/15(金)。いずれも9:00からです。定員になり次第申込を締め切ります。詳細は博物館へお電話いただくかホームページをご覧ください。

TEL 047-495-1325

博物館 ホームページ

第22回縄文コンテンポラリー展 in ふなばし

かえる

~原始の創造とアートの想像~

令和5年(2023年)7月16日(日)~8月27日(日)
9:00~17:00 (入館は16:30まで) ※最終日は15:00まで
休館日=月曜日 ※7月17日(月・祝)は開館、7月18日(火)は休館

船橋市教育委員会
飛ノ台史跡公園博物館

入場料:一歳110円、小一高校生50円(常設展示の見学もできます)
船橋市内在住の中学生以下は無料
主催:船橋市教育委員会飛ノ台史跡公園博物館
船橋市縄文コンテンポラリー展実行委員会

縄文コンテンポラリー展では「縄文文化」の理解を目的に、芸術家・研究者たちが「縄文文化」から受けたインスピレーションを作品や映像・パフォーマンス、掲示などで表現したりワークショップで体験できる企画展を開催してきました。またここ数回は遺物と作品が個々に対峙する並列展示形態の発表を行ってきました。第22回を迎えるにあたり、アプローチ幅を広げる必要からアーティストの自由な創作の幅を広げるべくあえて自由展示形式を採用しました。縄文(原始)の痕跡は遺物という形ですでに「創造」されたものとして存在しており、アートのもつ力の源「想像」によって根源的につながるアプローチが豊かに展開される場にしたいと考えています。常識的には突飛と思われる発想の中におもいがけず先人につながるヒントがあるかもしれません。メインタイトルの「かえる」は、蛙・帰る・変える・還る・僻る等見方によって多様な意味があり、来場者の皆さんがコンテンポラリー展・博物館に対し様々な見方考え楽しめるきっかけになる事を願います。

石川 麻
ISHIKAWA Asa

ジャンル：彫刻(木彫)
展示場所：3F展示室

鉢型土器 コルギ松造節 を見た時に思った、ふたりの宇宙人がいると、縄文の人々は、無意味な装飾はしないのではないだろうか。つまり、絶対に存在するもの(生き物、動物など)を装飾としてかたちにしたのではないかと、縄文時代の人々が宇宙人たちと交流していることも、もしかしたらあるのかもしれないと思うと、ワクワクします。



片岡 社
KATAOKA Sou

ジャンル：絵画、インスタレーション
展示場所：史跡公園

縄文時代、飛ノ台博物館の目の前には海が広がっていたことを知り大変驚きました。トビハクの貴重な資料を基に作品制作を通して、一万年も続いた縄文時代の豊かな海を表現します。



金井 聰和
KANAI Toshikazu

ジャンル：立体・インスタレーション
展示場所：史跡公園、3F展示室

貝塚から出土した様々な骨に興味を持ちました。また遺跡から当時の海辺の景色が解り、そこから人々の移動の様子が見えてくるのも面白いと思いました。「埋葬」あるいは「骨遣ひ」と「移動」をキーワードに作品を考えてみたいと思います。



児玉 匡平
KODAMA Kyohei

ジャンル：平面、立体
インスタレーション
展示場所：2F展示室

『skin』シリーズというビニールで物や空間を型取った作品等、生活に関する作品を制作しています。多回縄文時代の生活の中で使われた遺物と自分の作品を共に展示することで生まれる物「生活」がテーマです。



神原 勝敏
SAKAKIBARA Katsutoshi

ジャンル：立体・インスタレーション
展示場所：2F展示室(貸元住居内)

我が家には「ハナクマムシ」が同居している。クマムシは、縄文ハス(大賀ハス)のように乾燥状態でも生命を維持することができ、また地球上どんな生き物より過酷な気候、気圧、高放射線でも生きていく最強生物です。クマムシが、太古にがえり生命力に満ち溢れた縄文人の登穴式住居で生活していたらと想像しただけでワクワクしてくる。



正法地 健
SHOHOJI Takeshi

ジャンル：フォトコラージュ
展示場所：2F展示室

縄文人が自然と共に生きるために創造した土器を数千年の歴史を超えて承継し、いかに私産現代人が想像し、共有化を積み、表現する。



やちぐちひろゆき
yatigutihroyuki

ジャンル：立体造形アレンジ
展示場所：史跡公園、1F展示室、他

土にかすっていた遺物が掘り起こされ、縄文時代の想像力が土器の造形によって届けられた。僕らの心は多、彼らが創造したタイムマシーンに乗って縄文の心へとかえることができます。



野村 健幸
NOMURA Toshiyuki

ジャンル：写真を含む
インスタレーション
展示場所：1F展示室

森の記憶、土の記憶



馬場 敬一
BABA Keiichi

ジャンル：半立体絵画
展示場所：1F展示室

我々は生き死にを繰り返して、遠く縄文から現在に辿り着きました。人は何故遺物を掘り起こし、研究するのでしょうか。太古への憧れから「今も昔も人間の本质は変わらない」と思える共通点を探しているのではないのでしょうか。私は自身を掘り進める事で、私と縄文が共有する元型を発見したい。



船橋市教育委員会
飛ノ台史跡公園博物館
〒273-0021 千葉県船橋市海神4-27-2
Tel:047-439-1335
E-mail: tohonda@city.funabashi.jp
◎東武アーバンパークライン「新船橋駅」下車…徒歩1分
◎京成線「海神駅」下車…徒歩15分
◎京成線「船橋駅」下車…徒歩12分
◎船橋新成バス・JR船橋駅北口から
山手ルート線「海神中学校前」下車…徒歩1分